

事業進捗状況評価表に対する意見質問等

○ 全体

ページ数	番号	意見質問等	委員名	担当課	担当課コメント
—	—	産前産後の多忙な妊産婦にとって、現地に赴いて紙の書類を書くよりもwebフォームの方が望ましい。例えばこども家庭センター、きらりなども含めて、web申請フォームを導入していないところは導入した方がいい。	小西	こども家庭センター 自立生活支援課	【こども家庭センター】 ご指摘ありがとうございます。順次、WEBフォーム等での実施を検討していきたいと思 います。 【自立生活支援課】 デジタル化の推進が行われている一方で、施設利用にあたっては、ご本人の心身の 状況を証明する書類の確認や、詳細な聞き取り調査が不可欠となります。このような 性質上、現段階での完全なWEB化は難しく、従来どおりの手続きをお願いしておりま す。

○ 事業進捗状況評価表2

ページ数	番号	意見質問等	委員名	担当課	担当課コメント
1	1	利用者支援事業[基本型] 令和6年9月に市内1か所目として「ゆりかご」を指定、事業開始とあり、令和7年度実績数が5に増えているのは児童館4か所分の増加という意味で良いか？ 令和10年度に計画数をさらに+1としているが、これはどのような予定か？	鈴木	こども家庭センター 児童青少年課	お見込みのとおりとなります。 【児童青少年課】 児童館4か所分の増加という意味です。 【こども家庭センター】 (仮称)新福祉会館建設に伴う1増です。
1	1	利用者支援事業[特定型] 窓口・電話での相談に対応とあるが、メールやLINEなど多様な窓口創設の予定や可能性はあるか？ 経験上、子どものお昼寝時など、隙間時間での対応がありがたいのではないかと感じる。	鈴木	保育課	メールでの対応も行っています。
3	5	子育て短期支援事業(ショートステイ) 実績数730→26と激減しているが、どのような事情か？	鈴木	こども家庭センター	ご指摘ありがとうございます。 確保の内容は、利用枠確保数算出であるため、730(定員数2人×年間開所日数365日)に修正します。なお、実際の利用延べ人数は、26人44泊となります。
4	6	地域子育て支援拠点事業 保健センター、拠点が2になっているが、移転後も保健センターに現状の機能を残す想定なのか。 そもそも庁舎の計画では令和10年度に着工を目指すとするため令和10年度中には完成しないのに、令和10年に移転する計画になっているのも気になる。	小西	こども家庭センター 企画政策課	貫井北町地域におけるひろば機能の維持の方策も検討しています。 新庁舎・(仮称)新福祉会館建設事業については、本計画の策定期(令和7年3月)から状況が変わっています。2回の工事入札中止を経て、令和10年度(可能であれば令和9年度)の着工を目指しており、(仮称)新福祉会館への移設は、本計画の策定期より延伸する見込みです。
5	8	子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター(就学後)) 実績数1,209→283と激減しているが、どのような事情か？	鈴木	こども家庭センター	ご指摘ありがとうございます。 1,377に修正いたします。申し訳ございません。
6	10	放課後子ども教室事業 実績数1,500以上と規模が大きい。主に学校施設を利用しての実施との認識だが、第一小学校の建て替え期間は実施予定に影響はあるか？	鈴木	生涯学習課	実施予定に影響はあると考えます。しかしながら、現在も図書室や体育館、空き教室、その他の場所を学校等と話し合いながら使用させていただき放課後こども教室を行っていることを踏まえつつ、蛇の目跡地の一時的な利用場所を含めて工夫をし、目標を達成したいと考えています。
7	11	一時預かり事業(トワイライトステイを含む) 子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター) 実績数の減少はどのような事情か？利用希望はあるもののマッチングがうまく取れないケースはどの程度か？また、協力会員数の推移はどうか？ 学童では学級閉鎖時に登所を控えるように呼び掛けている。この際にファミリーサポートは有効な対応策の一つと学童の協議会内では話があがったが、そもそもファミリーサポートの存在を知らない人が多数であった。周知の方法も要検討に思う。また、事前に利用登録が必要なことから、突発的には利用できないので、その意味でも「まずは登録」のような呼びかけが必要かとも思う。	鈴木	こども家庭センター	ご指摘ありがとうございます。 4,056に修正いたします。申し訳ございません。 マッチングについては出来る限り調整しておりますが、急な依頼や長時間の預かり依頼等の場合にお断りすることがあります。その割合は全体の0.5%程です。 協力会員数の推移については、令和5年3月末:307人、令和6年3月末:311人、令和7年3月末:155人となっています。 ファミリー・サポート・センター事業については、市HP・市SNS、市報、市政だより、広報掲示板、CoCoバス車内広告等で周知を図っているところですが、引き続き、広報していきます。 また、トワイライトステイ事業につきましても、1,210(定員数5人×平均年間開所日数242日)に修正させていただきます。なお、実際の利用延べ人数は、82人となります。申し訳ございません。

○ 事業進捗状況評価表3(重点事業のみ)

ページ数	番号	意見質問等	委員名	担当課	担当課コメント
7	6-3-1	子育てに配慮した公共施設の改善 「集会所、低年齢の子と親のために利用率の低い和室を開放する、もしくは子どもの居場所として、利用率の低い和室を開放する」のはどうか。(犯罪・迷惑行為の抑止力として、カウンターで簡単な受付を行うなどが考えられる。) 別資料「202606_使用頻度が少ない部屋一覧」に利用率の低い集会所等の部屋一覧を記載	小西	子育て支援課 コミュニティ文化課	貴重なご意見ありがとうございます。 集会所は、市民相互の親睦と福祉の増進に寄与することを目的としており、現状において特定の目的に限定した継続的利用に供する運用は難しいものと考えます。 なお、本事業については、授乳やおむつ交換等ができる設備等を備えた既存の市内公共施設に赤ちゃん休憩室ステッカーを掲示し、広く周知することで、保護者等が乳幼児を連れて安心して外出できる環境づくりを整備することを目的としており、この間、新たに追加できる施設がないかの確認を進めているところです。
-	-	実績 なぜ直近のR6ではなくR5となっているのか？	小西	子育て支援課	のびゆくこどもプラン 小金井(令和7年度～令和11年度)(以下「第3期計画」といいます。)の始期は、令和7年度となります。 また、第3期計画は、策定時点(令和7年3月)において、令和6年度が終わっていないことから、お示しできる実績が令和5年度時点のものとなっています。
-	-	実績 実績がR5となっているが、R6はどうなっているのか？	鈴木	子育て支援課	なお、令和6年度につきましては、のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)の計画期間内の取組内容・目標となるため、第3期計画と重複する部分もありますが、今回の事業の取組内容・目標に基づく実績と異なるものとなります。事前の御説明が不十分であり、申し訳ございません。

○ 事業進捗状況評価表3(重点事業以外)

ページ数	番号	意見質問等	委員名	担当課	担当課コメント
2	1-3-2	ヤングケアラーの相談 「予定通りに行かなかった」の結果は「相談件数0」から来ているのか？ これは、この相談窓口の存在が認知されていないからなのか、そのような相談を必要とする事態が起きていないからなのか。 どちらと判断するかによって、結果の解釈が180度変わってしまう。どのように上記2つを区別できるか？	鈴木	地域福祉課 こども家庭センター	【地域福祉課】 要保護児童対策地域協議会と重層的支援体制整備事業の連携についての観点から、具体的な連携案件がなかったため「予定通りに行かなかった」としています。 〔件数について〕福総合相談窓口における成人支援において、根底にヤングケアラーはある案件はあるものの、本人の困りごとは別の主訴であるため、令和7年度中の相談件数を把握できていません。令和8年度からは、要因がヤングケアラーであるものを独自に把握していく予定です。〕 【こども家庭センター】 ご指摘ありがとうございます。 ヤングケアラーを主訴とした相談は0件ですが、相談対応している家庭で養育困難の状態であると判断したもののうちヤングケアラーが疑われる場合は、相談者の主訴のみならず、背景にある家庭の課題を把握し対応しています。なお子ども自身が相談を希望する場合には、こども家庭センターの他、子どもオンブズパーソンでもご相談できます。
3	1-4-1	いじめ等の防止対策 ヤングケアラーと同様で、いじめが無いのか発見できていないのかの区別は重要。 他の機関との連携は重要であるが、他の機関からの連絡を受けて、ではなく、この事業から主体的に他の事業にいじめの存在有無の聞き取りなどは行っているのか？ 特に、子どもにとっては友達との関係をもつ主たる場所は学校なので、教育委員会との連携についてコメントが欲しい。	鈴木	指導室 地域福祉課 こども家庭センター	【こども家庭センター】 ご指摘ありがとうございます。 こども家庭センターの総合相談では直接いじめの聞き取りを行っていませんが、教育委員会で行っているアンケートで生徒からの回答よりこども家庭センターとの連携が必要と考えられたものについては、適宜連絡を受けて対応しています。また、子ども自身の相談先については所属先の学校等の他、こども家庭センターや子どもオンブズパーソンでもご相談できます。 また年間通して、教育委員会を含む関係機関、市民や親戚、匿名者など、心配な子どもに係る連絡について広く受け付け、要保護児童対策地域協議会において連携を行い、適宜対応しています。 【指導室】 ご指摘ありがとうございます。 教育委員会では、月ごとのいじめ実態調査を行い、各学校からいじめの件数や様態について毎月報告を受けています。また、6月と11月はふれあい月間として、いじめ防止の対策について、児童・生徒にアンケート調査を行う等、学校での取組を強化しています。これらの取組を通して、教育委員会が把握したいじめについて、その様態に応じて必要な支援・助言を行っています。いじめ防止の取組については、各学校の生活指導主任に研修を行い、校内での未然防止や、トラブルが起きた際の早期対応について指導しています。 引き続き、学校と教育委員会が連携し、組織的に対応することができるよう進めていきます。
9	2-3-5	子どもの公共施設の利用 ロビーの開放にとどまらず、国立市(矢川プラス)、武蔵野市(武蔵野プレイス)のように、子どもが安心して過ごせるサードプレイスの機能を既存の公共施設に付与するところまで踏み込んで考えられないか。(先に提案した集会所の和室開放案とも関連。)	小西	公民館	公民館は、社会教育法第20条に規定された公共施設で、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、生活文化の振興並びに社会福祉の増進に寄与することを目的として登録された団体等が学習目的等により利用していただいています。よって、不特定多数が集まる継続的利用に供する運用は現状では難しいものと考えます。 公民館にとどまらず、公共施設の幅広い運用・利活用等については、市全体としての計画を以て行われるものと考えます。

20	3-4-10	女性のための再就職支援講座 これは、「育児や介護のために離職した人」を対象に再就職を支援するもの、と思います。 女性が対象であることが多いとは思いますが、昨今の事情を考慮すると女性に限定せず、「育児・介護等離職者のための…」のような事業のほうが適切に思います。	鈴木	企画政策課	当該事業は第7次男女共同参画行動計画(女性活躍推進計画を内包)に基づく施策の一つであり、女性の就労支援が目的の事業と位置づけています。女性の就業率は近年上昇傾向にありますが、L字カーブと呼ばれるように、女性の正規雇用比率が子育て世代となる30代以降に低下する傾向は今尚存在しており、さらに令和6年度に実施した市民意識調査結果において「子どもができれば職業を辞め、大きくなったら再び職業を持つ方が良い」との考え方が回答の2割弱存在する状況です。そのことから出産・育児等によりキャリアを中断された女性に対応する施策は引き続き必要との考えに基づきこれまで同様実施すべきと考えています。
27	5-1-1	コミュニティー・スクールと地域学校協働活動による学校・家庭・地域が連携した子育て環境の整備 結構広い範囲の子どもに関係する事業だと思うが、具体的に何をするのか、しているのかがこの進捗状況評価表ではわかりません。	鈴木	指導室	ご指摘ありがとうございます。 本市は、「学校運営協議会(以下「協議会」という)」を小中学校全14校に設置しており、校長の学校経営方針の承認や学校が抱える課題について話し合うことで、学校と地域が目標を共有しています。 また、協議会での話し合いを踏まえ、地域の方々が実際の教育活動に関わる「地域学校協働活動」が各校で展開されています。 具体的には、民生委員の方々による登校見守り、地域行事への中学生ボランティアの参加、不登校傾向のある生徒のための居場所の立ち上げ、歴史学習における講師派遣、周年行事への参画など、各学校の実情に応じて、地域の人材・知識を生かす様々な取組が広がっています。 このように、学校運営協議会での協議と地域学校協働活動の実践が両輪となって機能することで、子どもたちの学びと育ちを地域全体で支える仕組みを進めています。
30	5-3-1	ユニバーサルデザインのまちづくり 路上喫煙の禁止は現状では、市内3駅周辺に限られているが、子ども目線では市内全域禁煙で良いのではないかと思います。 朝の通勤時間帯には、歩行者の喫煙があり、通学時間帯には危ないと感じることもある。	鈴木	ごみ対策課	本市では「小金井市まちをきれいにする条例」第10条により、市内全域での路上喫煙をお控えいただくよう、条例で定めております。現在、禁煙地区の拡大については直ちに予定しておりませんが、安全な歩行環境の確保は重要であると考えております。他市の動向や社会情勢を注視し、今後も研究を進めてまいります。
-	-	重点事業ではないとはいえ、あまりにも具体性がない。予定の内容も実施内容も全く分からず、せめて短く予定・実績の概要だけでも書くべき。	小西	子育て支援課	各事業の取組内容の概要につきましては、事業進捗評価表の「事業の内容」の欄に記載させていただいており、当該事業の内容に対する取組状況として、計画年度ごとの指標を定めているところです。 よって、今回御意見をいただくものは、令和7年度計画に対する進捗状況についてとなります。 事業によっては、のびゆくこどもプラン 小金井(令和7年度～令和11年度)の計画年度内に検討、実施する場合など、具体的な数値指標を定めることが難しいもの、馴染まないものあり、分かりくい部分があるかと思われますので、そのような事業の記載について、次回以降のどのような工夫ができるか検討させていただきます。
-	-	なぜ直近のR6ではなくR5となっているのか？	小西	子育て支援課	のびゆくこどもプラン 小金井(令和7年度～令和11年度)(以下「第3期計画」といいます。)の始期は、令和7年度となります。 また、第3期計画は、策定時点(令和7年3月)において、令和6年度が終わっていないことから、お示しできる実績が令和5年度時点のものとなっています。 なお、令和6年度につきましては、のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)の計画期間内の取組内容・目標となるため、第3期計画と重複する部分もありますが、今回の事業の取組内容・目標に基づく実績と異なるものとなります。事前の御説明が不十分であり、申し訳ございません。